

さやまの冬

くずはき橋の話

入間川の下流にかかってきた「くずはき橋」がなくなりまして久しくなりますが…。

昔のお話です。

毎年、秋の恵比寿講市内では10月20日に行われるものですが、ひと月遅れの11月20日に行う家も多しそうです(のころとなりますと、下奥富の人たちが集まり、入間川に



木の橋をか
けはじめま
す。

橋は、田



畑の肥料にする雑木林の枯れ落ち葉を拾いに行くための足場としてかけられたもので、多くの人がこの橋を渡って、柏原の山へ出掛けて行きました。

枯れ落ち葉のことを、
狭山あたりでは「くず」といいましたので、誰いうとなく「くずはき橋」と呼ぶようになったそうです。

水野、堀兼あたりの農家でも、冬期に入りますと家族総出で「くずはき」をします。かこの中にいっぱい入るようにと、子ども達は何度かこの中で飛び跳ねて「くず」を押しえつけるそうです。これが面白くて、大喜びで手伝いました。

「くずはき」が終わり、「くず」がいっぱいになったかごを背負って橋を渡る姿は、季節の風物詩として、人々の心にいつまでも残っているそうです。

市民の作品展

俳句

狭山市俳句連盟の選による作品を掲載します。

終点は駅長ひとり秋桜

小高 朝子

鈴鳴らし吊橋渡る七五三

小林風沙子

小春日や一年生の参観日

島崎 保子

伸びるだけ伸ばしてクレイン涼新た

関口 孝子

秋風に値いのつかぬ清しさよ

田島まつ子

夕映えに朱のまさりゆく石榴かな

多田みどり

道しるべ立つ三叉路や彼岸花

水村 サダ

編集後記

晴れた空は高く澄み渡り、一雨ごとに涼しくなり、記録的な猛暑に包まれた夏もうそのように、過ぎやすい季節になりました。

この時期は、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、実りの秋…と、楽しむことに事欠かないよい季節でもあります。市内でも「さやま大茶会」をはじめさまざまなイベントが行われ、多くの皆さんがそれぞれの秋を楽しんでいました。

今年も残すところ2か月を切りましたが、今年まだ体験したいこと、挑戦したいことがあれば、ぜひ、広報さやまをご活用いただき、気になる講座・イベントなどに参加ください。

分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。なお、答えと一緒に広報さやまを見て感じたことなど、ご意見もお待ちしています。締切り11月30日10月号の答え



8ページ・部活紹介・がんばってます！の中央中学校・剣道部の写真でした。

👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課)	11月1日現在。(内は前月比)	
住民基本台帳人口	外国人登録人口	
男	78,645人(-60人)	947人(+0人)
女	76,523人(-24人)	1,252人(-2人)
合計	155,168人(-84人)	2,199人(-2人)
世帯	64,062世帯(+5世帯)	1,598世帯(-10世帯)
10月の火災・救急件数(消防本部)		
火災件数	3件(建物2件、車両1件)	
救急出動件数	485件(搬送人員457人)	
交通事故・刑法犯罪件数(狭山警察署)		
交通事故	2,770件(人身事故689件 内死者1人、物件事故2,081件)	
刑法犯罪	1,712件(侵入窃盗153件、車上狙い1249件、自動車盗等88件、その他1,222件)	
平成22年1月1日～10月15日の累計(概数)		